

地震に備えて

日本は世界でも有数の地震多発国です。阪神・淡路大震災は活断層のずれによって起きた地震ですが、この活断層は日本列島のいたるところに散在しています。つまり、いつ、どんなところでも、阪神・淡路大震災クラスの大地震が起こりうるわけです。「備えあれば憂いなし」。さっそく、できることから防災対策をしましょう。

日ごろの心得

1. 家族一人一人の役割分担

日常の防災の役割と災害時の役割の両方を決める。



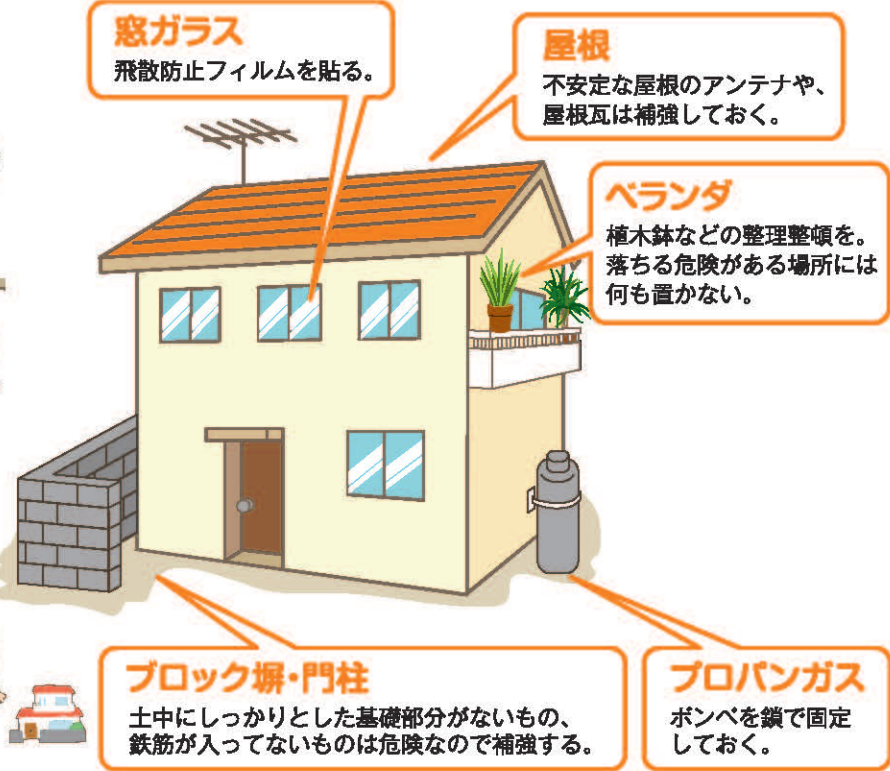
2. 家屋の危険箇所をチェックする

家の内外をチェックして危険箇所を確認し転倒防止等をする。



3. 災害時の連絡方法や避難場所の確認

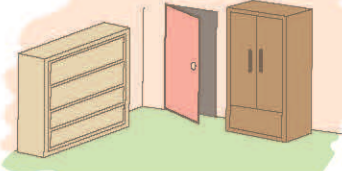
家族が離れたときの連絡方法や避難場所を確認する。できれば、みんなで下見しておく。



家の中の安全対策

① 家の中に逃げ場としての安全な空間を作る

人の出入りが少ない部屋に家具をまとめておく。無理な場合は、安全なスペースが出来るよう配置換えする。



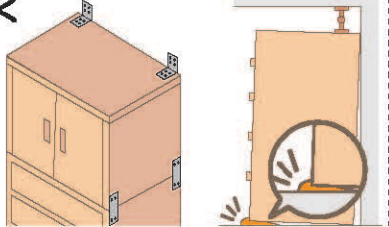
② 寝室には大きな家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



③ 家具は倒れにくいように置く

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱に寄りかかるように固定する。



④ 安全に避難できるように、出入口や通路には物を置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすい物を置かない。また、玄関にいろいろ物を置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



震度目安

| | | | | | |
|---|--|-------|--|-------|---|
| 0 | 人は揺れを感じない。 | 4 | 眠っている人のほとんどが目覚ます。部屋の不安定な置物が倒れる。歩行中の人も揺れを感じる。 | 6 (震) | 立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。 |
| 1 | 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。 | 5 (弱) | 家具の移動や、食器や本が落ちたり窓ガラスが割れることもある。 | 6 (強) | 立っていられず、はわないと動くことができない。重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ。 |
| 2 | 屋内にいる人の多くが揺れを感じる。つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。 | 5 (中) | タンスなど重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある。自動車の運転は困難。 | 7 | 自分の意志で行動ができない。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。 |
| 3 | 屋内のほとんどの人が揺れを感じる。棚の食器が音を立てることがある。 | | | | |

地震! その時10のポイント 大地震時の行動

地震直後の行動

① グラツときたら身の安全

地震の時は、まず身の安全を図り、揺れがおさまるまで様子を見る。



② 落ち着いて 火の元確認 初期消火

火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。出火した時は、落ち着いて消火する。



③ あわてた行動 けがのもと

屋内で転倒落下した家具類やガラスの破片などに注意する。



④ 窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難できるように出口を確保する。



⑤ 落下物

瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので注意する。



⑥ 門や塀には 近寄らない

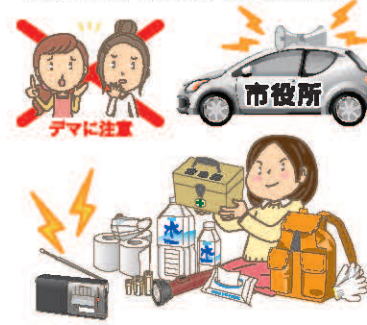
屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

⑦ 正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



⑧ 確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



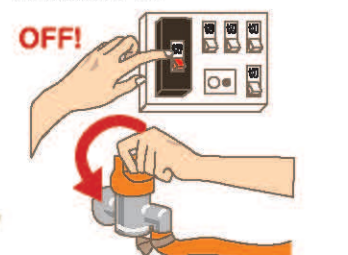
⑨ 協力し合って救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



⑩ 避難の前に安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



非常持ち出し品・自宅の備蓄品を用意しよう

①応急医薬品として、傷薬、絆創膏、包帯、鎮痛剤、風邪薬、目薬、胃腸薬や日ごろ使っている薬を持ち出せるようにしておきましょう。②ペットボトルの飲料水や缶詰などの日持ちのする食料品などのほか、アレルギーや嗜好に合わせた備蓄を各家庭でも行いましょう。③その他では、携帯ラジオ、予備乾電池、現金、下着類、タオル、雨具、ライター、防災情報マップなども用意しておきましょう。

非常持出品

重さの目安は男性で15kg、女性10kg程度。背負いやすいリュックサックにまとめておきましょう。



下記の項目のにチェックをして確認しましょう。

水・食料など



貴重品



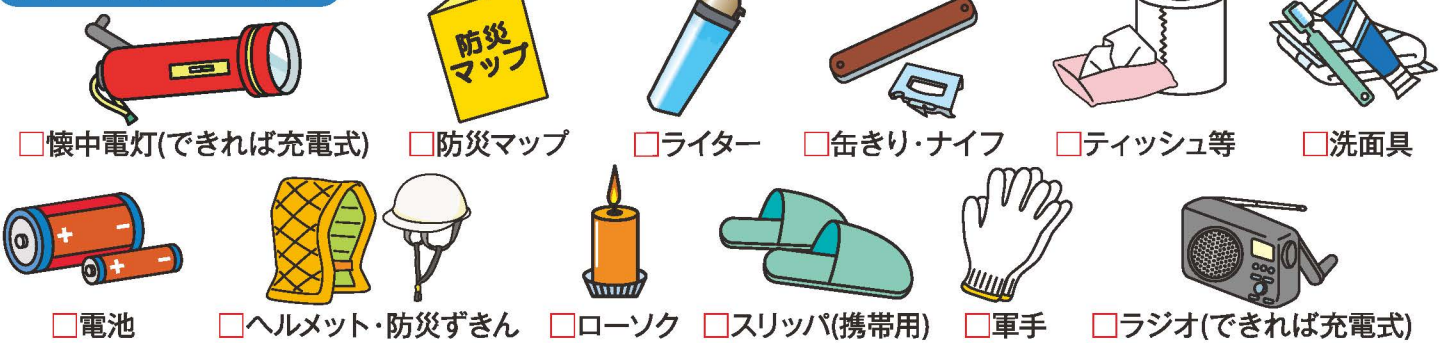
医薬品類



衣類



小物道具類・生活用品



自宅の備蓄品 (3~7日分)

・水(1人1日3ℓ目安) ・簡易トイレ ・食品(アルファ米、缶詰等)
 ・カセットコンロ ・カセットボンベ ・ランタン(できれば充電式)

家族の安否確認・災害情報確認方法

災害用伝言ダイヤル171 (毎月1日・15日は体験利用可能)

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことが多くあります。そんなときには、「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生をおこなってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。



録音方法

171→1 市街局番からダイヤルしてください。→ **(000)000-0000**
 案内放送が流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を

再生方法

171→2 市街局番からダイヤルしてください。→ **(000)000-0000**
 案内放送が流れます 被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、PHSからも利用できます。

災害用伝言板web171(毎月1日・15日は体験利用可能)

各電話会社が提供する災害用伝言板サービスを利用できます。

「災害用伝言板サービス」とは、大規模な地震や災害が発生したときに、被災地の方が携帯電話・PHSのインターネット接続で、コメント選択や文字入力によって登録し、情報を登録した人の携帯電話・PHS番号をもとにして全国から安否情報等を確認できるサービスです。

- ・NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- ・KDDI(au) <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ・ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
- ・ワイモバイル <http://dengon.ymobile.jp/info/>

スマートフォン・
携帯電話・PHS



防災行政無線電話応答サービス(無料)

防災行政無線の定時放送を除く最新の放送を電話で確認できます。

☎ 電話番号 ぜろはっぴゃく はっぴゃく むさしいち番
 (通話料無料) **0800(800)6341**

※以前の【042(516)8000】の番号は使用できなくなります。

武蔵村山市災害情報提供サービスについて

警報・避難準備情報等の災害情報を、事前に登録していただいた携帯電話やパソコンへ電子メールで送信するサービスです。武蔵村山市のホームページの「犯罪・災害・市政情報提供サービス」から登録できます。